

オンライン学習会

# 自閉症の我が子に どう向き合うか

## —家族と支援者ができること—



自閉スペクトラム症の我が子に家庭で、できることは何だろう、どこからはじめればいいのか。専門家のお話と、家族として向き合ってきた方のお話をきいてみませんか。本人と家族に関わるみなさんにも聞いていただきたいお話です。どなたでもご参加いただけます。

### 1 9/26(土) 10時~12時 自閉スペクトラム症障害の基礎

～家族と一緒に考える～



滋賀県発達障害者支援センター

桜井 弥生氏

賛助会員 2,000円

【受講費】一般 2,500円 会 員 1,000円

申込〆切  
8/26

〈各回お申込必要〉

定員：各回90名 ※先着順  
申込：WEBフォームより  
〆切：各回開催日の一か月前

詳細・お申込みは下記QRコード、  
ホームページ専用フォームより

### 2 10/24(土)10時~12時 私にわかる方法で教えてほしい

～絵本『学校コワイ』に込めた想い～



成人ASD研究会  
一般社団法人 高槻ルーロー主催

よつばもこ氏

賛助会員 2,000円

【受講費】一般 2,500円 会 員 1,000円

申込〆切  
9/24

### 3 11/28(土)10時~12時 PECSを用いた生活支援

～家庭でPECSを活かす実践編～



南大阪PECSサークル代表

中谷 正恵氏

賛助会員 2,000円

【受講費】一般 2,500円 会 員 1,000円

申込〆切  
10/28

### 4 2021年1/23(土)10時~12時 発達障害の子を育てる

～大学生になるまで～



会員保護者

賛助会員 1,000円

【受講費】一般 1,500円 会 員 500円

申込〆切  
12/23

### 5 2/20(土)13時~16時 家庭での実践に向けて

～家族が取り組むこと、支援者が取り組むこと～



川崎医療福祉大学医療福祉学部  
子ども医療福祉学科 講師

重松 孝治氏

賛助会員 2,000円

【受講費】一般 3,000円 会 員 1,000円

申込〆切  
1/20

お申込みは  
こちらから



お問合せ NPO法人 滋賀自閉症研究会 たんぽぽ

\*メールでのお問合せを  
お願いしております

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8

✉ [tpshigaclass@gmail.com](mailto:tpshigaclass@gmail.com)

<https://npotanpopo.jimdofree.com/>

☎ 077-575-3796 [月・木 10時~14時]

## 〈講師紹介〉

オンラインでの開催です。  
毎回お申込みが必要です。



### 桜井弥生氏 滋賀県発達障害者支援センター 主任相談支援員

京都府八幡市社会福祉協議会、滋賀障害者雇用支援センター勤務を経て、平成19年より滋賀県発達障害者支援センターいぶきの相談員を務める。

◆滋賀県発達障害者支援センターの相談員として信頼も厚く、たくさんの自閉スペクトラム症障害の方とご家族の相談にのってられています。自閉スペクトラム症障害の基本的なことを教えていただきます。



### 中谷正恵氏 株式会社 童夢 代表取締役、南大阪PECSサークル代表

平成元年生まれの次女が知的障害を併せ持つ最重度自閉症、また、ご自身も42歳のときに高機能自閉症としての診断がおりている。我が子を育てるために学んできたことをベースに2004年から個別支援、福祉事業所での相談業務、コンサルテーションを行う。

◆PECSを使ってお子さんと楽しい毎日をご過ごしていただける様子をYouTubeでも発信されています。実生活でのPECSの活用とその大事さについてお話しさせていただきます。



### 会員保護者

知的に遅れがなく、普通級に通い現在大学生になられた自閉スペクトラム症のお子さんをお持ちのお母さん。

◆小さい時からたんぼぼの勉強会などに参加し、お子さんの理解に合わせて生活をわかりやすくしていただいたお母さんです。また、ご本人の認知が進むと自閉症特有の理解のお子さんに対し、その疑問や困りごとに丁寧に対応していただけます。その子育てに際しての考えや、これからのことをお聞きします。



### よつばもこ氏 成人ASD研究会 一般社団法人 高槻ルーロー代表

絵本「学校コワイ」著者。  
我が子の診断をキッカケに発達障がい学び、実践・啓発活動が日常的になる。必殺繫ぎ人、自閉症スペクトラム支援士。  
座右の銘「ないものは作る」

◆自閉スペクトラム症のお子さんを育てた経験を通して気づかれた、彼らの「見え方・感じ方」をわかりやすく絵本にして伝えておられます。自閉症の人たち独特の認知の仕方をどう理解したか、当事者ご本人たちが自分を知り大事に思えるように支えていくか、というお話をしていただきます。



### 重松孝治氏 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科 講師

大阪教育大学教育学部障害児教育専攻卒業。  
同大学院修士課程修了。大阪府の特別支援学校教諭を経て、2007年より川崎医療福祉大学・医療福祉学科講師、2014年より現職。大学で教鞭をとる傍ら、各地で自閉症・発達障害支援の研修会講師、助言者を務める。  
TEACCH AC(上級コンサルタント) 認定。

◆自閉スペクトラム症の我が子に家族ができることはたくさんあります。家庭でしか教えられないこと、家庭と、学校や福祉サービスが連携するからこそ本人が学んでいけることもあります。しかし家族はせっかく「勉強」してもどこから手をつけていいのかわからない状況であることも確かです。そこで、家庭で実践していくための考え方・取り組み方、そしてその様な家族をどう支援者は支援していくのかをお話しさせていただきます。

主催

NPO法人 滋賀自閉症研究会 たんぼぼ

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8

<https://npotanpopo.jimdofree.com/>

NPO法人滋賀自閉症研究会 たんぼぼ  
「自閉症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き生きと暮らせる滋賀」  
を目指して1996年に発足し活動しています。  
自閉症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に  
関するさまざまな事業を行っています。

